



1. 飼養管理対策

- ◆新鮮な冷水の十分な確保:ポンプの点検、ニップルの詰まり、ウォーターカップの破損、水道管内の汚れを事前に確認しましょう。
- ◆授乳期用飼料へのエネルギー、アミノ酸強化(添加剤やサプリメント等)
- ◆給与時期・回数:飼料の工夫:飼料の早朝・夜間給与、3回給餌等
- ◆密飼いの防止

2. 施設対策

- ◆畜舎外からの暑熱遮断
 - 屋根への石灰塗布、断熱材の使用、寒冷紗の設置
 - *石灰は手作業でもローラー等でしっかり塗れば、耐久性は4か月以上持続するといわれています。
- ◆畜舎内の温度低減
 - 換気扇・扇風機・ダクト換気による送風、ドリップクーリング、通路への水撒き、細霧機の設置、クーリングパッド
 - *入り口や窓付近にある送風の妨げになるものを片付けて、換気の効率を上げましょう。インバータを接続することで電気代の節減効果もあります。
- ◆エコ暑熱対策
 - *グリーンカーテン
 - ゴーヤ・ひょうたん・朝顔などのつる性植物を豚舎側面に植生することで直射日光の遮断効果があり、カーテンの内側と外側で最大5℃程度の気温低下が見込まれるといわれています。
 - *ドリップクーリング(ペットボトル)
 - ペットボトルを冷凍し、天井から吊るしたり網など固定し母豚の頸部に滴下します。冷凍できるペットボトルは限られているため、分娩後の母豚や調子の悪い母豚に優先的に使用します。



花き 花卉の栽培管理について



○菊について

夏秋菊に関しては、9月彼岸用の定植がはじまっている状況です。今後については、高温に注意し換気の徹底をお願いします。「精の一世」に関しては、立枯れ予防のため排水対策を図り少量多回数での灌水を心掛けてください。病害虫では、スリップス、ヨトウムシなど増加していますのでローテーション散布での防除の徹底をお願いします。

***安定した菊生産のためには苗の確保が重要になります。苗・挿し穂の過不足がある方は早めにJA指導員まで連絡をお願いします。**

○洋花類について

洋花類に関しては、6月は高温多湿で灰色カビ等病気の発生及びヨトウ類の蕾の食害を十分注意し、定期的な予防散布をお願いします。クレームの発生がないように、より一層の選花徹底をお願いします。

○土作りについて

前作終了後は、土を乾燥させないように適度にかん水を行ってください。ビニールハウスではビニール被覆を除去し、雨に当てるなどの対策をとってください。さらに完熟堆肥や野草(かや)等の有機物の投入、太陽熱消毒、土壌消毒を実施し、土壌分析に基づいた施肥設計をし、施肥・定植までの準備を早めに行ってください。

***尚、詳しい内容は担当指導員へお尋ねください。**



果樹 6月の果樹園管理



防除・施肥管理

品目	栽培管理	農薬名	倍数	対象病害虫
みかん	・摘果:極早生は6月上旬、早生・普通は6月下旬からを目安に着果状況に合わせて摘果を行ってください。 ・マルチ:園地の土壌条件を把握したうえで極早生は6月上旬~下旬を目安に被覆を行ってください。	ハーベストオイル	150倍	ハダニ
		アクセルフロアブル	2,000倍	ゴマダラカミキリ
		アグリメック	2,000倍	アザミウマ類
		ジマンダイセン水和剤	600倍	黒点病
		トランスフォームフロアブル	1,000倍	カイガラムシ類
デコボン	・大玉生産の為には早期摘果が重要です。 ・2次生理落果が終了次第取り掛かりましょう。 ・カルシウム剤は果皮強化のために年数回の散布が必要です。	モスピラン顆粒水和剤	4,000倍	アブラムシ類
		ジマンダイセン水和剤	600倍	黒点病
		ジュシーカル	1,000倍	体質強化
		アピオンE	1,000倍	展着剤
		アグリメック	2,000倍	サビダニ
梨	・1㎡あたりの着果目安 幸水:12果 豊水:11果 新高:7果 あきづき:9果 ・輪紋病多発園ではストロビーDF 2,000倍(前日、3回)を追加散布してください。カメムシが多い場合は、スタークル顆粒水溶剤(前日、3回)を追加散布してください。	フロンサイドSC	2,000倍	黒星病・輪紋病
		バリアート顆粒水溶剤	2,000倍	シンクイムシ等
		オキシラン水和剤	500倍	黒星病・輪紋病
		ナリアWDG	2,000倍	黒星病等
		サムコルフロアブル10	5,000倍	シンクイムシ類
柿	・摘果果実 果実が小さいもの 病害虫果 果形が乱れているもの ヘタが小さいもの	コルト顆粒水和剤	2,000倍	カイガラムシ類
		スコア顆粒水溶剤	3,000倍	炭そ病等
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	フジコナカイガラ等
栗	・若木など防除が必要な場合に散布又は塗布しましょう。 ・パダンSG水溶剤を散布する場合、早生品種をお持ちの方は6月中旬ごろに散布を行いましょ。	サッチューコートSセット又はガットサイド	15倍	コウモリガ
		トラサイドA乳剤	100倍	カミキリムシ
		パダンSG水溶剤	1,500倍	ネスジキノカワガ

*農薬使用・混用について不明な点がございましたらJA指導員もしくは営農センターにご相談ください。



普通作 小麦の適期刈取と水稲植付け前の管理について



◆小麦の適期刈り取り

播種時期の違いなどにより、ほ場によって生育にバラつきがあるものの、今年産の小麦については概ね順調に生育しています。積算温度から見た適期刈取時期は、4月5日頃出穂期を迎えた圃場で5月25日頃と予測されます。準備を万全に整え、適期刈り取りを行いましょ。

1. 収穫適期は子実の水分が30%以下の時です。
目安は、成熟期(穂首部分が黄化し穎が枯れ、粒は緑色が抜け、ツメ跡がわずかにつく、ほぼ“ろう”くらいの硬さになった時期)から4~5日後です。
2. カラスノエンドウ、ヤエムグラ、ママコノシリヌグイなどは、種子の粒厚が厚く選別が困難なため、必ず抜き取りを行ってください。
3. 使用する機械類の清掃を徹底し、異品種混入等を未然に防止してください。
4. 倒伏した場合は品質が悪くなりますので、その部分は別刈りしてください。

◆雑草の写真



◆水稲元肥の施肥時期とほ場の均平の必要性

1. 水稲の元肥は移植の7~3日前に施用するのが理想的です。(施肥から移植までの期間が長いと、窒素の溶出が早くなり、茎数、穂数ならびに窒素吸収量が少なく推移します。)
2. 均平精度を高めると、ほ場内の水深のムラが小さくなり水管理がしやすくなります。
3. 水深の浅い部分や田面が露出した部分は除草剤効果が不安定になります。

◆均平にするポイント

- POINT1. 代かきよりも運土量大きいのは、耕起・耕耘です。耕起・耕耘作業の段階で均平を図る方法が有効です。
- POINT2. 代かき作業では運土量小さいので、あくまで局所的な高低差を小さくすることを心掛けましょ。

◆上手な耕耘と未熟な代かきの写真



園芸 瓜類・野菜類の管理について



〈西瓜〉

ハウス内は高温となりますので、ハウスの両側換気を必ず行い、ハウス内が蒸れないようにしてください。夜間も15℃以上ある場合は、ハウスを開放してください。わき芽の整理は株元~着果節位付近までは必ず行い、ツル先は草勢が強い場合は行い、普通~弱い場合は取らないようにしてください。萎れ防止にはプロテックα(500倍)を午前中に葉面散布してください。

〈メロン〉

育苗時期は、ハウス内外の害虫進入防止対策(苗床は紫外線カットフィルムや粘着トラップ等・本圃は防虫ネット【0.4mm】を谷とサイド)を実施し、定植2~3日前に株元付近へ粒剤処理を行ってください。
栽培管理は西瓜同様に換気を徹底し、今後交配となる作型は定植から交配まで30日以上かけて、樹作りを行ってください。肥後グリーンについては水切れしないように少量多回数の灌水を行い、妻面を開放し通気性を高めてください。

〈アスパラガス〉

萎枯れ病・斑点性病害の発生抑制のため、予防防除の徹底をお願いします。また、高温期対策として妻面を開放して通気性を高めてください。

〈病害虫や獣害対策〉

瓜類の病害虫について、この時期はアザミウマ類・アブラムシ類・うどんこ病が多発する時期です。早期防除で、薬剤抵抗性がつかないように農薬をローテーションしながら散布してください。
アスパラガスについては斑点病とアザミウマを特に防除してください。
獣害対策について、イノシシやタヌキなどは隠れる場所(ヤブや荒地)と食べ物がある場所が近い圃場を狙ってきます。まずは隠れる場所をなくすことです。例えば、ヤブから圃場までの間を2~3m以上空けて獣が見えるようにします(草刈りも含)。防風樹がある場合は、地上部から60cmぐらいの枝を払いましょ。そして、圃場の周りやハウス内に野菜の残渣を捨てないことです。
他には自動点滅のライトやラジオを一日中つけたり、動物の嫌がる臭いをケモノ道にかけるなど様々な方法がありますが、必ず慣れてきますので対策を変えなければなりません。最も有効な対策として、電気柵があります。